

豊岡まちづくり推進協議会 会議録 令和5年度 第2回

会議概要	
日時	令和5年12月5日（火曜日）午後6時00分から午後8時00分まで
場所	東部まちづくりセンター コミュニティースペース
出席者	<p>委員（12名、正副会長以外は50音順）</p> <p>高嶋会長，宇野副会長，石川委員，石坂委員，大田委員，佐久間委員，佐々木委員，澤田委員，清野委員，瀧本委員，長谷委員，本間委員</p> <p>（欠席 溝口委員，山崎委員，山本委員）</p> <p>オブザーバー</p> <p>堀川 地域まるごと支援員</p> <p>事務局</p> <p>地域活動推進課 小松主幹</p> <p>東部まちづくりセンター 鈴木所長，道下主査，高尾</p> <p>その他</p> <p>福祉保険課 鷲塚主査，正木</p> <p>旭川市社会福祉協議会（総合相談支援課） 石戸谷課長補佐</p>
会議の公開・非公開	公開
傍聴者の数	2名
会議資料	<p>次第</p> <p>資料1 令和5年度豊岡地域で実施される課題解決の取組</p> <p>資料2 豊岡まちづくりウォーキング事業資料一式</p> <p>資料3 愛あい（子どもの居場所）づくり事業資料一式</p> <p>資料4 豊岡消防団活性化事業資料一式</p> <p>資料5 地域安全見守り事業資料一式</p> <p>資料6 逃げ遅れゼロの地域づくりプロジェクト事業資料一式</p>

議事の内容

1 開会

- ・開会し、事務局の司会で、欠席者の報告及び配布資料の確認があった。
- ・福祉保険課より「第5期旭川市地域福祉計画・旭川市社会福祉協議会第7期地域福祉活動計画の策定に向けた意見の募集について」の説明があった。
- ・令和5年度の新任委員として澤田委員（愛宕東小学校校長）の紹介・挨拶があった。

2 協議事項

事務局より前回（令和5年度第1回）の協議会の協議概要について説明があった。

第1回協議会で報告された、豊岡まちづくり推進協議会の区域変更について、当初のスケジュールどおり進められている旨が報告された。

(1)豊岡地域のまちづくりの検討と推進について

ア 令和5年度に豊岡地域で実施される課題解決の取組について

資料1～6に基づき、今年度豊岡地域で実施されている課題解決の取組について、事務局から進捗状況などの概要説明の後、所属している各事業の実行委員から報告があった（豊岡消防団活性化事業については、実行委員欠席のため、事務局からの報告のみ）。

【委員】〈豊岡まちづくりウォーキング事業〉

- ・天候にも恵まれ多くの方々にご参加いただいた。今年は、小学生や小さなお子様も数名御参加いただいて、大人だけでは感じるできない楽しいひとときを過ごすことができた。
- ・課題としては、この事業も、年間複数回開催することができればという声があるので検討していきたい。

【委員】〈愛あい（子どもの居場所）づくり事業〉

- ・子どもや保護者から、水曜日になると「今日は愛あいはあるの？」との問合せが多くなった。地域で愛あいを楽しみにしている人が増えているのを感じている。
- ・子ども達も楽しんでいますが、実行委員として集まっている大人も「居場所」として楽しんでいるのが、この活動の素敵なところだと思う。

【事務局】〈豊岡消防団活性化事業〉

・旭川信用金庫の協力により、地域の各支店（東光支店・東光東支店・あたご支店・東旭川支店）においてパネル展を実施した。事業費を活用し、啓発グッズとして「ウチワ」を作成し、パネル展やまち協関連事業の参加者に配布した。

・豊岡地区センター消防訓練への協力については、前回のまち協の場で相談したことがきっかけとなり実現した。地域住民と共に実施する消防訓練を数年ぶりに再開するにあたり、住民周知むけのチラシ作成や防災に関する講話、消火器の使用法に関する指導等について実行委員会が担当した。

【委員】〈地域ふれかつマップ作成事業〉

- ・同じような内容では視覚的に情報を伝える事も難しいことから、限られた紙面の中でいかに情

報をわかりやすく載せられるか、また、どこに重点をおいて掲載していくのか、近日中に実施される実行委員会において協議したいと考えている。

【委員】 <地域安全見守り事業>

- ・ 普段、子ども達が登校する様子を見る機会がない中で、事業を行いながら子ども達の様子をみることができて良かった。
- ・ 子ども達の登校の様子をみていると、しっかり挨拶をしてくれるし、いろいろな場面で子ども達と触れあう機会ができた。
- ・ 現状、担い手の数が少なめではあるが、皆様に協力いただきながら続けていきたい。

【委員】 <逃げ遅れゼロの地域づくりプロジェクト事業>

- ・ 災害時、避難するために支援が必要となる方々がいるなか、地域として逃げ遅れの無い備えをするよう全国的に進められている。
- ・ 旭川市では、平成30年に忠和地区において、大雨による大変な被害を受けたことにより、事業が始まり、今年は豊岡・新豊岡地区で実施することとなった。
- ・ 豊岡地域で記憶に残る災害と言えば、平成30年胆振東部地震の際に起きたブラックアウトで、電気が使えなくなり不自由だった記憶がある。このような災害にも対応できるものにしたい。

イ 豊岡まちづくり推進プログラムについて

- ・ 2グループ（豊岡・新豊岡グループ、愛宕グループ）に分かれてグループワークを実施した。
- ・ 「目指す地域の姿」「解決すべき課題・問題点」「課題・問題点を解決し、『目指す地域の姿』へ近づくためにできる事は何か」をテーマとし、意見を出し合った。

<グループワーク概要>

【豊岡・新豊岡グループ】

～目指す地域の姿～

- ・ 引きこもりや障害者の方でも住みやすい地域
- ・ 誰もが関わりを持てる地域
- ・ 全ての住民が互いに思いやる地域
- ・ 良い近所づきあいのできる地域
- ・ 地域まるごと共有して支え合える地域
- ・ 住民が自主的に参加して課題解決に取り組める地域
- ・ 住民が主役のみんなに優しい地域

～解決すべき課題・問題点～

- ・ 少子高齢化が進む状況の中で、時代に合った事業を実施することが必要。
- ・ 社会的に居場所がないと感じている人々を優しく受け入れる地域体制づくり。
- ・ 地域住民の交流ができていない。若者との交流が必要。
- ・ 町内会の加入率が低い。町内会に加入した事によるメリットや、活動内容のPRが少ない（市としても検討が必要。例えば、市民広報を活用し、非会員にも周知できる方法を検討するなど。）
- ・ 住民が高齢化して町内会行事への参加率が低い。

- ・若者（60歳以下）の町内会加入が少なく、担い手不足。
- ・現在実施している豊岡の事業に関しては、回数を重ねていく事が重要。その中で、地域住民が率先して取り組める基盤づくりが大事。
- ・様々な取組を知らない人に知っていただいたり、参加者を増やすための創意工夫が重要。
- ・社会的に居場所がないと感じている人々が増えている。このような方々を、優しく受け入れる地域体制づくりが必要。
- ・ふれかつマップの中に、障害者の方を対象とした活動情報をとりいれてほしい。

【愛宕グループ】

～目指す地域の姿～

- ・人との繋がりを大切にするまち
- ・全ての世代にとって住みやすいまち（子どもから大人まで）。
- ・町内会の担い手が不足しているが、地域を支える「町内会」の存続は大切。

～解決すべき課題・問題点～

- ・地域に児童センターがないので、各学区に子ども達が安心して集える場所が増えてほしい。
- ・子どもから大人まで、気楽に交流できる場・いろいろな出会いが生まれる場があるとよい。
- ・町内会の活動については、20代～30代の世代をいかに取り込むことができるかということが大事。

～目指す地域の姿に近づくためにできること～

- ・愛宕東小学校では、小学校3年生授業の一環で、児童が地域の公園に探検に行き、地域に必要なとされる公園を考えて提案するような取組をしている。この取組のように、子ども達から提案できるような機会があればおもしろいのではないか。

3 その他

【事務局】

- ・地域まちづくり推進プログラムの改訂作業の流れについて
- ・第3回豊岡まちづくり推進協議会について

3 閉会